

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/13 (4/6との比較)	4/13 (4/6との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	2.24% (+0.10)	85.13円 (+1.78%)	+2.9% 2017年4Q	1.25%	原油価格の高騰が重石となったものの、シリア情勢をめぐる地政学的リスクの不透明感から、国債利回りは上昇。また、中銀総裁が利上げの可能性を示唆したことから、カナダドルは対円で上昇。	CPI（消費者物価指数）や小売売上高などの発表を予定。NAFTA（北米自由貿易協定）をめぐる先行き不透明感などから、米国の通商政策や原油価格には引き続き注意が必要。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	8.71% (+0.03)	31.36円 (▲1.15%)	+2.1% 2017年4Q	6.50%	CPIは市場予想を下回る水準。小売売上高も燃料の販売価格の高さから市場予想に反してマイナス。大統領選挙をめぐる先行き不透明感も続いたことなどから、国債利回りは上昇。レアルは対円で下落。	本命ルラ氏の出馬観測が後退し、混沌とした大統領選挙をめぐる動きのため、今後の展開次第で金融市場が乱高下する可能性には注意が必要。米中貿易摩擦の先行き不透明感の残存からブラジルレアルはもみ合いを予想。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.22% (+0.02)	5.95円 (+1.72%)	+1.5% 2017年4Q	7.50%	CPIや鉱工業生産が市場予想を下回る中、中銀は政策金利を据え置き。大手格付機関が、NAFTAのリスクが低下したとみて格付見通しを引き上げる中、国債利回りは小幅上昇。ペソは対円で上昇。	外貨準備高や小売売上高などの発表を予定。NAFTAについては5月に合意するとの見方もあり、大統領選挙をめぐる動きが注目される中、債券・為替市場はレンジ内での推移を想定。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/13 （4/6との比較） 今後の見通し （※4）	4/13 （4/6との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気の方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.74% （+0.08）	83.36円 （+1.58%）	+2.4% 2017年4Q	1.50%	米中の貿易摩擦への懸念が後退したほか、中銀総裁が講演で景気や雇用が全国的に改善していると強調したことを受け、豪ドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	中銀議事録や雇用統計などの発表を予定。市場予想範囲内の内容とみられるものの、中銀議事録に通商面等の有益コメントがあるか注目。また、引き続き雇用は堅調とみられ、失業率は低下する見込み。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.83% （+0.02）	78.97円 （+1.53%）	+2.9% 2017年4Q	1.75%	製造業PMI（購買担当者指数）は、前回分を下回るものの、依然として50を上回り相応の水準を維持。円安の影響などから、ニュージーランドドルは対円で上昇。世界的な利回り上昇の影響から、国債利回りは小幅上昇。	CPIなどの発表があるものの、市場予想から大幅にかい離した内容とならない限りは、相場への影響は限定的と想定。リスク許容度の動きに影響を受けやすい地合いであり、海外市場を見ながら一進一退の展開が続くと予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.81% （▲0.01）	13.81円 （+0.06%）	+1.4% 2017年4Q	0.50%	鉱工業生産やCPIなどの指標が発表されたものの、内容はまちまち。中銀総裁がインフレ率改善の見通しを示唆したことや、原油価格が上昇したことから、ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは小幅低下。	景気が改善傾向にあることや、足元の原油価格の堅調な推移は、ノルウェークローネの支援材料。貿易収支や住宅関連指数などの発表を予定し、足元は原油価格に連動して底堅い推移を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/13 （4/6との比較）	4/13 （4/6との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	7.51% （+0.04）	8.88円 （▲0.09%）	+1.5% 2017年4Q	6.50%	製造業生産は市場予想を下回る一方で、鉱物生産量は前回分を上回る内容。世界銀行が南アフリカの経済成長率見通しを引き上げたものの、構造改革進展の必要性にも言及。ランドは対円で下落。国債利回りは上昇。	CPIや小売売上高などの発表を予定。政治改革の更なる進展などが期待されるものの、その他の固有の材料には乏しい中、米中を中心とした通商問題への懸念も残ることなどから上値の重い展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB-	6.02% （+0.02）	0.78円 （+0.39%）	+5.2% 2017年4Q	4.25%	大手格付機関が、格付けを「Baa3」から「Baa2」に引き上げたことなどを受け、ルピアは対円で上昇。一方、米国での金利上昇に追随する形で、国債利回りは小幅上昇。	貿易収支の発表や金融政策決定会合が予定され、中銀は政策金利を据え置くと予想。前週の格上げなどを背景に、インドネシアの資金流入への期待が高まることから、債券・為替市場は対円で底堅い推移を予想。
	Baa2	 金利上昇		 景気拡大	 据え置き局面		
インド 	BBB-	7.40% （+0.22）	1.65円 （+0.04%）	+7.2% 2017年4Q	6.00%	CPIは前年比で市場予想を上回る結果。原油価格上昇などを受け、国債利回りは上昇。原油高によるインドの対外収支悪化懸念から、ルピーは対米ドルで下落、対円で上昇。	特段重要な経済指標等の発表が無く、欧米諸国を中心にマーケット全体のセンチメントや、原油価格の動向に影響を受けやすい展開が予想される中、政策金利は当面据え置きを予想。債券・為替市場はレンジ内での推移を予想。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

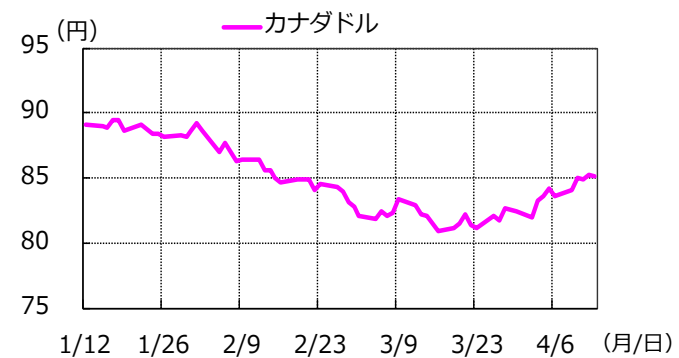
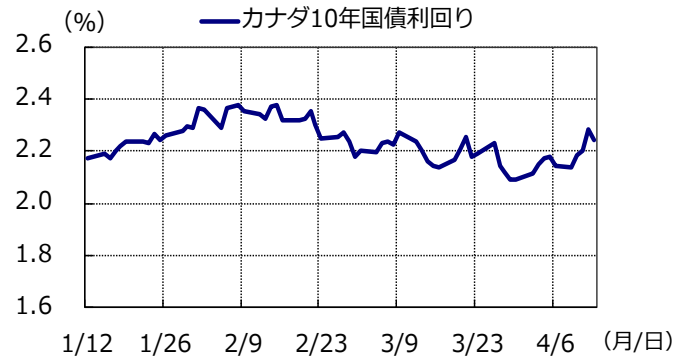
（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

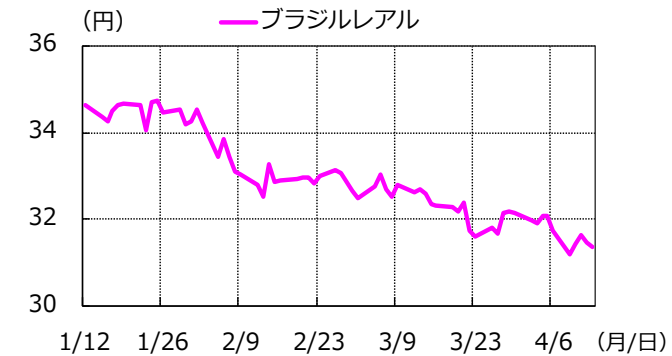
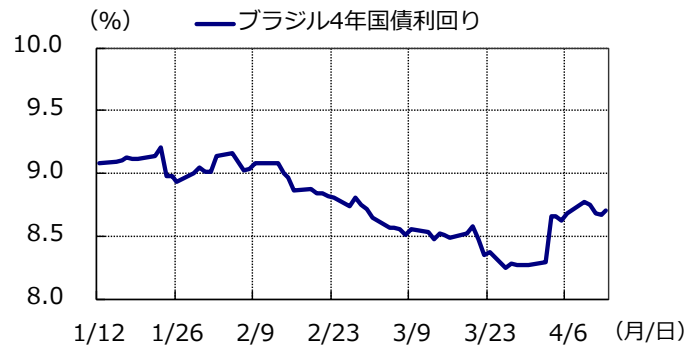
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/1/12～2018/4/13

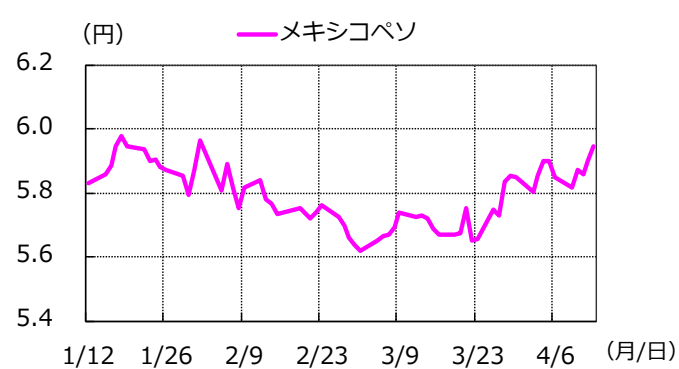
カナダ



ブラジル



メキシコ

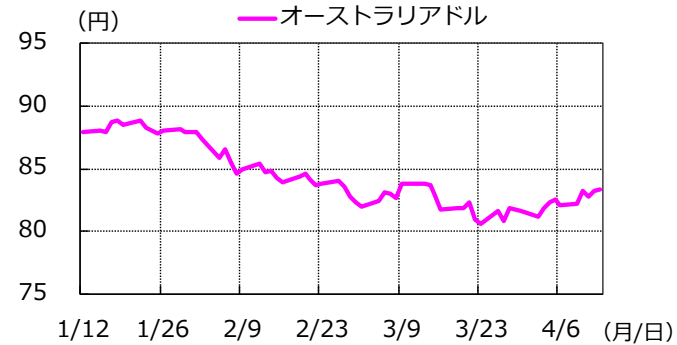
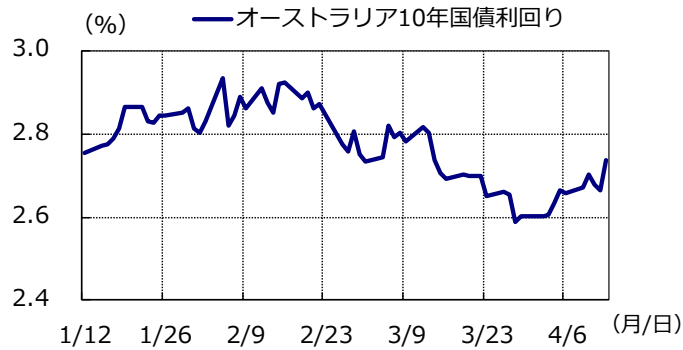


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

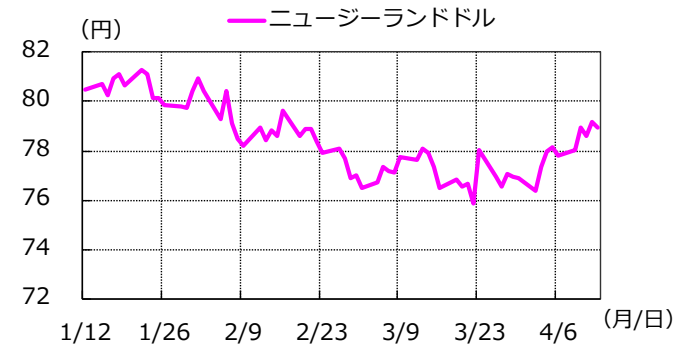
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/1/12～2018/4/13

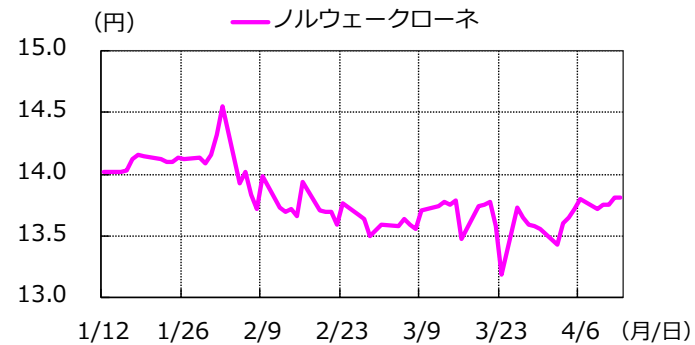
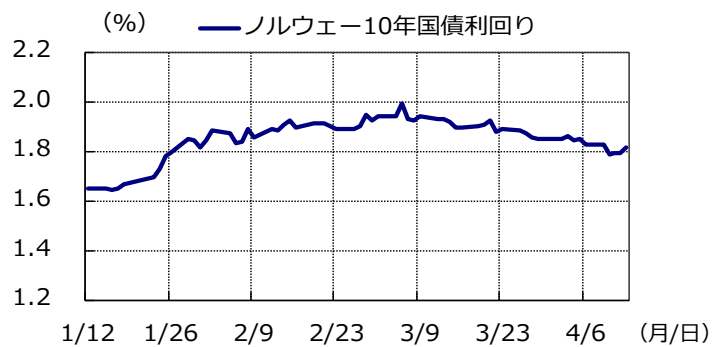
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

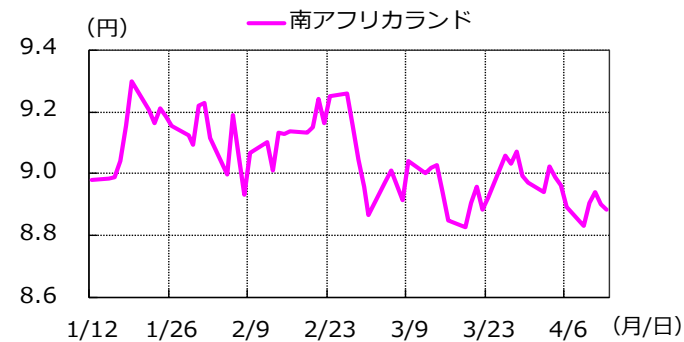
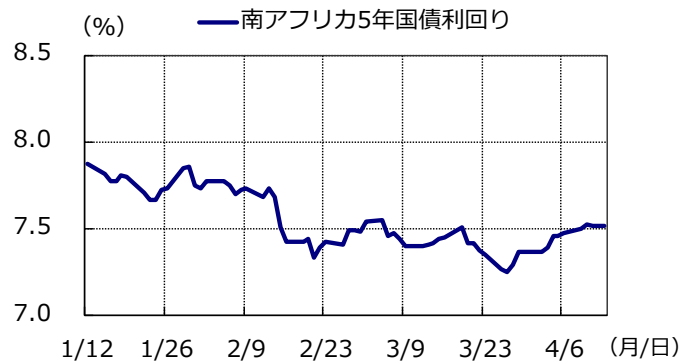


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

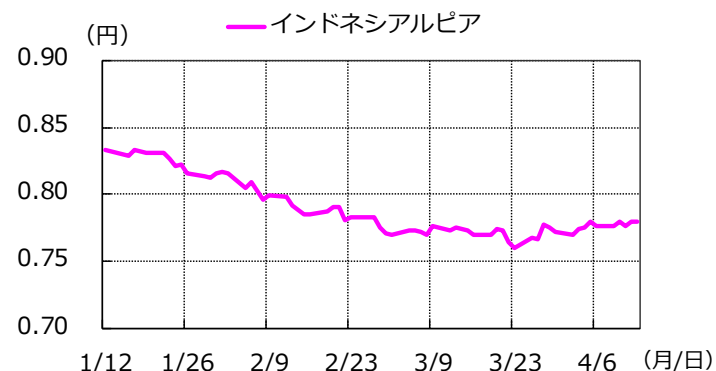
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/1/12～2018/4/13

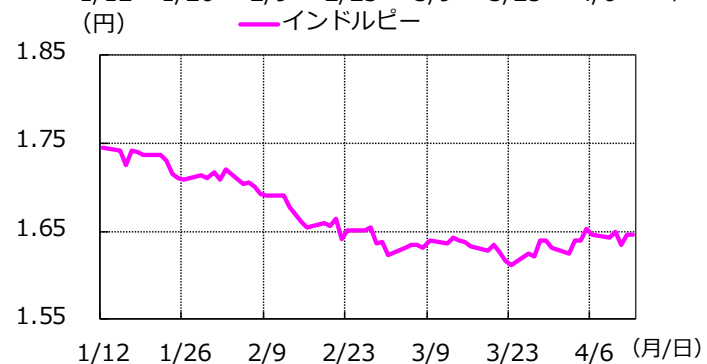
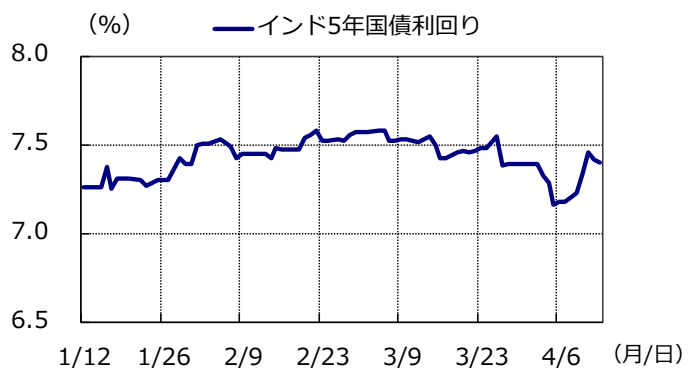
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。